

## 見ごろの植物マップ

2023年/11月下旬~

No.21



※天候により見ごろが前後する場合があります。

## ①ダイヤモンドリリー



科名：ヒガンバナ科  
場所：管理事務所前 スポーツハウス前

花に光が当たると、細かなラメを散りばめたようにキラキラと輝きます。その様子から「ダイヤモンドリリー」と呼ばれ、このラメのような輝きは花弁の細胞に含まれる「でんぶん質」が光を反射することによって生まれます。

## ②バラ (コスモス)



科名：バラ科  
場所：バラ園

秋のバラがとても綺麗に咲いています。漂う香りは、異空間にいるようで、素敵な時間を過ごせます。写真のバラは「コスモス」小宇宙（コスモ）という意味で、ドイツのコルデスが作出したバラです。淡い色と香りに魅了されます。

## ③メタセコイアの紅葉



科名：スギ科  
場所：大池周辺 大芝生広場

和名はアケボノスギ。最大樹高が115mにも及ぶといわれるセコイアにその姿が似ていることから、メタ（変形した）セコイアと名づけられています。春の芽吹き、新緑、夏の深緑、秋の紅葉、冬の裸樹と素敵な姿を現します。

## ④イチョウの紅葉



科名：イチョウ科  
場所：あじさい園

日本の秋を彩る樹木として代表的なイチョウは、「生きた化石」と呼ばれています。金色に輝く葉がひらひらと舞い、地面を黄金のじゅうたんに変える光景は、秋の風物詩です。

## ⑤ホトトギス



科名：クリ科  
場所：あじさい園

花弁の斑点が鳥のホトトギスの胸の模様に似ていることから名づけられました。

東南アジア原産で、日本にも10種以上が自生しています。

秋の茶花として古くから親しまれています。

## ⑥サザンカ



科名：ツバキ科  
場所：花木園

晩秋の花として親しまれるサザンカは、日本の固有種です。ツバキの花とよく似ていますが、花が終わる時にツバキは花の形を残してそのまま落ちるのに対して、サザンカは花の形を残さず、花びらがばらけて散っていきます。

## ⑦入口花壇



場所：管理事務所前大池沿い

第2・第3駐車場から管理事務所へ向かう道中、交差点から大池沿いの花壇です。色とりどりのパンジーやキンギョソウが綺麗に咲き、大きな株一面に蝶が舞うように咲くガウラは風情があり繊細な雰囲気です。

## ⑧コスモスの開花状況



科名：キク科  
場所：スポーツハウス前

心和むコスモスロードにと、当園ボランティアの皆様の協力もあり植え付けました。花も大きくなり見ごろを迎えていました。冬景色になるまでには是非ご覧下さい。